

明るい東海

2017年6月議会 (6月1日から20日) 報告

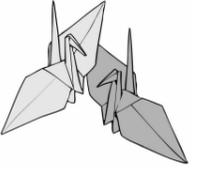
【発行】2017年8月15日 NO. 74

日本共産党東海村委員会 村議 大名美恵子



大名美恵子
5期

ストップ! 戦争する国づくり



【所属】文教厚生委員会
一般会計予算決算委員会
原子力問題調査特別委員会

【住所】〒319-1112東海村村松2401-2

【電話・Fax】029-284-0761

【携帯電話】090-3961-8578

【e-mail】toukai@oona-mieko.info

いのちと暮らしを大切に、しっかりと応援する 村政をめざして

お変わりありませんか。
今号では、6月議会でのとりくみや、この時期における党村委員会の考え方などについてご報告をさせていただきます。
今後とも皆さまのご意見をいただきながら、いのちと暮らしを最優先に大切に、しっかりと応援する村政を求めて力を尽くしてまいります。

東海文化センターホールの空調不具合への対応を求める

東海文化センターホールは、空調設備が起動に時間がかかることや温度調節ができない等で、映画やコンサート等の鑑賞時、適度な環境の確保が難しくなっています。空調使用料を払って催事する側にとっても、チケットを購入して鑑賞する客の側にとっても課題となっています。

大名美恵子議員は、改善策の検討を求めました。

教育次長 東海文化センターは、昭和52年に開館以降、座席の更新、トイレ・楽屋の改修、外壁や屋上の防水工事など必要に応じ改修を実施し、利用環境の維持向上に努めてきた。平成28年度のホールの利用人数は4万人超で、利用環境の整備は施設管理者の責務と考える。

空調設備については、温度調整がしにくい文化センターの職員が早出をしてボイラーを起動するなど、できる限りの工夫を行っているが、快適な利用環境としては課題が残っている。文化センターは文化振興、文化芸術等の催事が行われている有料施設であり、年間4万人を

超える利用があるなど、ホール内空調の抜本的改善の必要性は認識する。当面の対応策についても早急に検討したい。

大名美恵子議員 施設管理者によれば、催事の途中で「寒くていられない」と帰ってしまった観客もいたとのこと。また、ある住民の方から「夏場、空調により寒くなるので必ず上着かストールを持って入る」と声が寄せられた。当面の寒さ対策の一例として、ブランケットの無料貸し出しなど取り組んではどうか。

教育次長 他の施設などでも、冬場に限らず夏場の冷房に弱い方への対応としてブランケットの無料貸し出しは広く行われている。これを含め改善策を検討したい。

7月9日に行った「大名議員の議会報告会」に出席いただいたある女性の方は、「つい最近文化センターホールで寒くてお腹が痛くなった」と述べられました。

早急な対応が求められています。

真崎浦土地改良区の揚排水機場 運転管理に村の支援を

真崎浦土地改良区の揚排水機場の管理は、水路が農業専用のため地権者の賦課金を中心とする土地改良区が独自に行っています。

しかし、近年集中豪雨等が多発し、農繁期以外でも機場の運転が必要となり、土地改良区のみでの管理負担では賦課金引き上げにつながりかねない状況とされています。

大名美恵子議員は、村の支援が必要になっていると判断し、考え方を質しました。

建設農政部長 竹瓦、豊岡、細浦の排水機場は、都市排水を排水するために設置されているのに対し、真崎浦土地改良区内の排水機場は水田への湛水防除を目的としているため、土地改良施設として農業者からの拠出金をもとに、土地改良区により管理されている。

土地改良区の運営については、施設の老朽化が進むなか維持管理等の運営費の確保が課題となっており、農業者の減少や米価の低迷等でその確保が困難となっ



ているため、村は平成17年度から運営費の助成を行ってきた。しかし東新川の上流部の宅地開発により、都市排水路としての役割が高まっていることや集中豪雨の多発で農閑期でも機場運転が多くなってきた。昨年8月の豪雨では、昼夜を通して機場の稼働にご尽力いただいたことを把握している。

村として、豪雨による機場の緊急運転に係る費用に対する支援のあり方について土地改良区と相談し、検討したい。

大名美恵子議員 真崎浦土地改良区の理事長さんは、「米の価格が低迷する中、私としては地権者の賦課金を上げることだけは絶対にしたくない」と、胸中を語られた。同時に「中央排水路が土砂の堆積等で貯水量が減ってきている。ぜひ村に浚渫をお願いできれば」と述べられた。考え方を問う。

建設農政部長 中央排水路の貯水量が減少すると水田への送水が十分に行えなくなる。また、中央排水路の水位が高くなり水田からの排水もスムーズに行えなくなることや、水路法面を崩すおそれもある。

中央排水路の管理は土地改良区が行うものであるが、水田農業の現状、土地改良区の運営状況を踏まえ、村として今後の対応について検討してまいりたい。

大名美恵子議員 機場は、豪雨にどの程度耐えられるか。

建設農政部長 諸状況を踏まえ、更新工事を進めたい。



地方議員の厚生年金制度 加入を求める意見書提出 に反対

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」案が、提案者笹島士郎議員、賛成者新垣麻依子議員により提出されました。

提案理由は、「国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう国の関係機関に求めるため」とのことです。

大名美恵子議員は、意見書案の採決に際し、次の意見(要約)を述べて反対しました。

「以前の議員年金制度は財政的に維持困難とされ、2011年6月1日に廃止。これにより議員を専業とする場合、国民年金加入のみとなった。現在の国民年金は、40年間保険料を支払った場合の満額でも78万100円。これでは暮らしていけない事はすでに多くの国民が訴えている。しかし国会では『年金カット』法が、自民・公明・維新の賛成で成立され、物価が上がっても賃金が下がれば年金も下がるという大改悪が行われたばかり。国民が低額年金で苦しんでいる時、本来議員はこの改正に努めるべき。今回の提案は、議員自らの暮らし安泰のため公費負担による収入増の道を探ったものであり賛成できない。

日本共産党が提案する最低保障年金制度こそつくるべき。」



【日本原子力機構に緊急要請】

大名美恵子議員は、6月6日に発生した原子力機構大洗研究開発センターにおける作業員の内部被ばく事故について、議会上部委員に、「重大な事故が起きてしまった。東海村議会として機構に対し意見をあげた方がいいのではないか」と、相談しました。

その結果、提案者村上邦男議員、賛成者岡崎悟議員として、緊急要請書提出について提案が行われ、全会一致で可決されました。

大名議員は、村上邦男議員からこの要請書案を事前に示されたとき、要請項目の2番目に、「機構内各事業に関して、水平展開での安全確認を行い、二度と事故を起こさないよう求める」ことを追加してほしい旨伝えるため村上議員の会派室に向かいましたがちょうど不在でした。

無料法律相談会 ぜひご利用ください!

8月31日(木) 午後2時~4時
9月28日(木) 午後2時~4時
10月26日(木) 午後2時~4時

◎何れも水戸翔(はばたき) 合同法律事務所の弁護士が相談に応じます。
◎会場は何れも東海村アイヴィル会議室101号。
◎お問い合わせ、相談のご予約は、大名美恵子(自宅電話または携帯電話)まで。

日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター燃料研究棟における作業員の汚染、被ばく事故に対する緊急要請

平成29年6月6日、日本原子力研究開発機構大洗研究開発センター燃料研究棟において、管理区域内作業中に放射性物質が飛散し、作業員が内部被ばくするという重大事故が発生したことは、日頃から安全を最優先に業務に取り組むよう要請してきた当議会としては、誠に遺憾であり、厳重に注意する。

原子力施設を管理・運営する日本原子力研究開発機構においては、万全な安全対策を講じることは当然の責務であり、原子力に関する事故はあってはならないものである。

ついで、村民を代表する機関である自治体の議会として、下記の事項に関し強く要請する。

記

- 1. 早急に事故原因等について究明を図り、当村議会に対し詳細な結果・情報提供等行うこと。
2. 原子力施設の安全管理・運営、安全対策について、より一層の徹底を図るため組織を挙げて取り組むことはもちろんのこと、貴機構職員一人ひとりの安全に対する意識改革を図ること。

来年度から小・中学校の普通教室にエアコンを設置するため検討を開始!

追加して文案を完成させるにはただちに行われなければならない状況でしたので時間的に間に合わない判断し、本会議に提案された文案は、右記のとおりでした。

5月10日に開かれた「東海村総合教育会議(招集は村長)」の内容を質問した越智辰哉議員への答弁で、かねてから教室にエアコン設置の必要性が生じた

ときのためにと教室の温度調査が行われている件について議論があったことがわかりました。その中で教育委員さんから、「必要な教育環境の整備は、

集中できる環境が大切



誰彼に言われたからやるのではなく、教育委員会自らの判断で対応すべき」との意見も出され、村長も含め教育委員会は、来年度から設置の方向を確認したことです。

大名美恵子議員は、これまで何度かエアコン設置を求めて一般質問で取り上げてきましたが、これまでの教育委員会の答弁では、「学校に付けるときは、幼稚園にも付けたい」ということでした。

現在、幼稚園の担当課は子育て支援課になっていますが、連携を強めて学校と幼稚園にもぜひ設置されることを望みます。

入学準備金が入学前支給に改善されます

―就学援助制度―

大名美恵子議員

が、この間一般質問で取り上げてきた就学援助制度の入学準備金について、全国的に「金額が低いことと、入学後数か月過ぎてからの支給では実態に見合わない」との声に基づき改善要求が出されてきました。



国を大きく動かすこととなり、来年度から金額は約2倍、支給時期は本村は入学前の3月と改善することになりました。

住民請願

若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める請願

年金者組合東海支部の大森登美子さんから提出された標記請願の項目は、「年金を毎月支給に改善すること」です。紹介は恵利いつ議員が受けました。

大名美恵子議員が所属する文教厚生委員会付託となり、請願者から趣旨の説明をいただいたのち、委員それぞれが「毎月支給になった場合の手数料はいくらぐらいか」などの質問を出しあい、まとめて、厚生労働省に回答を要請しました。回答が届き次第、また委員会で議論します。

二〇一七年東海村長選挙について

二〇一七年八月 日本共産党東海村委員会

東海村長選挙が、8月22日告示、27日投票で行われます。今回の村長選挙は、東日本大震災で重大事故の危機に直面した東海第二発電所の20年延長運転申請の直前となり、村内外の多くの住民が「再稼働反対。廃炉に」と訴える中、東海第二原発の再稼働の是非が大きく問われています。

同時に、東海村政を行革優先ではなく村民のいのちと暮らしを最優先にするのかどうか問われる極めて大切な選挙です。党東海村委員会は、この間、多くの「東海第二原発の再稼働ストップ」をかける住民・諸団体の方々とともに、その実現に向け運動を進めてまいりました。今回の村長選挙にあたりまして、この方々の中から候補者擁立をめざしてきましたが、残念ながら擁立には至りませんでした。

このことから、今回の村長選挙では、党が支持したたかう候補者の擁立は見送る決断をいたしました。日本原電は、東海第二原発の運転延長申請の期限を今年11月に控え、再稼働に向けた動きを強めています。まさに再稼働を阻止できるかどうかの正念場です。党は、誰が新たな村長に就任しても、再稼働ストップ、村民のいのちと暮らしを守るために引きつづき力を尽くします。

村長選挙と同時に投票で行われる県知事選挙につきましては、野党と市民の共闘を進展させて、東海第二原発の再稼働ストップを明確にかかげる新知事の誕生をめざして全力をつくします。

まもなく任期満了の村長として、

東海第二原発の再稼働是非、どう判断するか

村長 東海第二の再稼働是非の判断には、以前から①新基準上の許認可 ②安全協定の見直し ③広域避難計画の策定 ④住民の意向、この4つの要件が必要と考える。新基準適合性審査は、まだ見通せない状況にあり、安全協定の見直しは今後詰めなければならぬ。広域避難計画の策定は、住民の一定の理解が得られるよう丁寧に進める。住民の意見が

福島第一原発の過酷事故とその後を理解すれば、再稼働NO!の判断になるのではないでしょ

